



羅針盤

保護者 向け
進路 だより
平成29年5月11日
進路 指導 部

先月のPTA総会に多数のご参加ありがとうございました。総会后、行われた保護者向け進路セミナーの内容を加筆してまとめましたので、参考にしてください。

進学マネー相談会

(講師：NPO法人進学支援の会 加藤 勝 氏)

Q1. 学費を考える上で注意することは？

A1. 入学金だけではなく、授業料、諸費、一人ぐらしの費用などトータルでいくらかかるかを知ることが大切。初年度だけでなく、在学期間の数年分を計算して、トータルを把握する。
1年次からオープンスクールに参加して、現実的な数字をチェックすることがオススメ。入学金などは(高校と違い)合格通知のあと1～2週間以内に納入することになるので、3年次の秋の段階でまとまったお金が必要になることも要注意。

Q2. できるだけ経済的負担が軽い形で、進学を考えたいのだが…。

A2. 社会で必要とされる職種であれば、その業界や(進学卒業後の)就職先による条件付の給付型の奨学金制度がある。例えば看護師、介護福祉士、自動車整備士、作業療法士、理学療法士、歯科技工士、測量士など。地方自治体の奨学金もある。また、各校の特待生にチャレンジするなどの方法もある。こういった情報をしっかり集めていくことで選択肢が広がる。

Q3. 日本学生支援機構の奨学金は、他のローンなどとどの点が違うの？

Q3. 第1種であれば、利息がつかない。利息がつく第2種も卒業して返し始めてから利息がつく仕組みになっている(つまり卒業後すぐ返した分には利息がつかない)。どちらの制度も現3年次から条件に合えば、基本的に全員受けられる仕組みになった。

Q4. 第1種奨学金に申し込むには？

A4. 評定平均3.5以上が条件。3年の春に申し込みをする。申し込みをしておいて、あとから就職に変更してもOK。キャンセル料などない。申し込み案内は5月予定。

Q5. 奨学金はいつ振り込まれるの？

A5. 入学後の5～6月となるので、(Q1のように)入学金のタイミングには間に合わない。なので、入学金納入の段階で費用を借りなくてはいけない場合は、事前にろうきんや国の教育ローンの事前審査を受けておくことが大切。事前審査には時間がかかるので、早めに。

Q6. 給付型はないのか？

A6. 住民税非課税世帯が対象となっている。日本学生機構奨学金HPに説明あり。

Q7. 奨学金が家庭の事情で返せなくなったらどうなるの？

A7. 放置せず、手続きをすることで、猶予・減額が可能となる。

就職セミナー

(講師：帯広公共職業安定所 川村 裕一 氏)

Q1. 昨年の十勝管内全域の就職内定率は？

A1. 99.1%。非常によい状況で、全国的にもほぼ同じ状況。

Q2. 求人が多く、内定率が高いから就職は心配なさそうですね？

A2. 事務、販売など人気の職種は求人が少なく、今までと厳しさは変わらない（事務希望者144人に対して、求人は79人だった）。

Q3. 後から、求人が出るだろうと、最後まで事務を志望した場合はどうなる？

A3. 求人は後半まで待っても出ない。根気よく自己分析を続けて、事務や販売にこだわらないことも重要。販売以上に事務は厳しい状況（昨年度は、医療事務の求人は8人しかなく、そこに79人が応募）。資格が必要とされることもあるので、実際この8人には「事務補助」の数字も含まれる。

Q4. 有効求人倍率の数字はどう出すの？

A4. 求人100人分に対して応募者が100人の場合が1.00倍という計算。求人175人分に対して応募者が100人なら1.75倍。当然だが「求人倍率が高い」方が応募者にとってチャンスが広がる。10年前の求人倍率1.2倍だったのに対し、昨年度は、1.98倍。

Q5. 「高卒者月別求人数」を見ると、7～9月頃に求人が集中しているのはなぜ？

A5. 6月中にハロワに求人が寄せられ、取り決め上7月1日に解禁となり一斉に求人を公開する。そのため、7月にほとんどの求人が出る。（実際の選抜試験は9月16日以降という取り決め）。次の求人票公開日が9月5日なので、

9月に求人の第2の波がある。そのため、7～9月に求人が集中する。10月以降は求人が激減する。年が明けるとほとんどない状況。

A6. 求人の内訳はどうなっているの？

Q6. 求人数では、サービス業の451人のうち医療・福祉が242件。生産系は394人、そのうち製造業は295件だが、人気の菓子製造のほかは農業機械製造などもあり幅広い。

Q7. 池田町の状況は？

A7. 求人倍率は1.2倍。この数字は高いとは言えない。事務は3名分求人があり、3名とも池田高校の生徒が内定。人気の求人はすぐに埋まってしまうので、早め早めの対策が必要。

Q8. 就職活動にどれくらいお金がかかる？

A8. 運転免許（およそ30万円。兄弟割引も4～5千円程度。学割もそれほど大きくはない）や車両代が必要になる可能性がある。自宅外での就職となると、引っ越し費用も必要（单身パックを使っても1～3万。荷物量・距離によってさらに増額）。一人暮らしとなると、家賃が帯広市内で3～4万円（※2万台のところもあるが、木造で寒い）。札幌市内だと5～6万円。それに敷金・礼金・仲介手数料・火災保険料などが発生する。一般的に引っ越し費用は15～20万円の程度は必要。家電製品の購入には10万円以上、家具（タンス・棚）を購入すると、その分も必要。

Q9. 一人暮らしだと経済的には大変？

A9. 毎月の賃金が15万円くらいだとしても、保険料の天引きがあり手元に残るのは12万円くらい。生活費としてはぎりぎりなので、経済的に余裕が出てくるまで、保護者による資金面での援助が必要となる場合も。一人暮らししか自宅からの通勤か相談しておくとう応募先がスムーズに決められる。